



2013年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2013年4月9日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮武 正容
 問合せ先責任者 (役職名)経営戦略本部長 (氏名)原田 直樹 (TEL)03(6858)6544
 定時株主総会開催予定日 2013年5月22日 配当支払開始予定日 2013年4月30日
 有価証券報告書提出予定日 2013年5月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2013年2月期の連結業績(2012年2月21日~2013年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年2月期	4,298	—	334	—	365	—	193	—
2012年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2013年2月期 433百万円(-%) 2012年2月期 一百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2013年2月期	49 65	49 12	5.1	7.7	7.8
2012年2月期	— —	— —	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2013年2月期 一百万円 2012年2月期 一百万円

(注) 2012年2月期(期末)は連結財務諸表を作成していないため、2012年2月期の数値及び対前期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2013年2月期	4,975	3,985	79.3	1,012 48
2012年2月期	—	—	—	— —

(参考) 自己資本 2013年2月期 3,948百万円 2012年2月期 一百万円

(注) 2012年2月期(期末)は連結財務諸表を作成していないため、2012年2月期の数値については、記載していません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2013年2月期	178	△254	△117	2,250
2012年2月期	—	—	—	—

(注) 2012年2月期(期末)は連結財務諸表を作成していないため、2012年2月期の数値については、記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2012年2月期	— —	0 00	— —	30 00	30 00	116	—	—
2013年2月期	— —	0 00	— —	30 00	30 00	116	60.4	3.1
2014年2月期 (予想)	— —	0 00	— —	30 00	30 00		60.0	

3. 2014年2月期の連結業績予想(2013年3月1日~2014年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	—	100	—	115	—	50	—	12 82
通期	4,400	2.4	380	13.7	410	12.3	195	0.7	50 00

(注) 2013年2月期第2四半期は、連結財務諸表を作成していないため、第2四半期(累計)の対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）特定子会社の異動には該当しませんが、ZWEI (THAILAND) CO., LTD. を当連結会計期間より連結子会社としております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2013年2月期	3,900,000株	2012年2月期	3,900,000株
2013年2月期	277株	2012年2月期	236株
2013年2月期	3,899,759株	2012年2月期	3,899,805株

（参考）個別業績の概要

1. 2013年2月期の連結業績（2012年2月21日～2013年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年2月期	4,296	—	419	—	449	—	235	—
2012年2月期	4,028	4.9	480	0.4	509	0.1	244	△18.0

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2013年2月期	60	43	59	80
2012年2月期	62	58	62	09

（注）2013年2月期は、12ヶ月8日の変則決算となるため、対前期増減率は記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円	銭
2013年2月期	5,021	4,044	80.1	1,031	40		
2012年2月期	4,431	3,659	82.2	934	61		

（参考）自己資本 2013年2月期 4,022百万円 2012年2月期 3,644百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(4) 事業等のリスク	5
2. 企業集団の状況	6
3. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略	6
(4) 会社の対処すべき課題	7
4. 連結財務諸表	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	15
(7) 追加情報	16
(8) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21
(4) 継続企業の前提に関する注記	23
6. その他	23
(1) 役員の変動	23
(2) その他	23

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復が見られたものの、欧州の金融不安などにより依然として不透明な状況が続いております。また、日本経済再生に向けて、大胆な金融政策、鼓動的な財政政策や民間投資を喚起する「三本の矢」の成長戦略により長引くデフレ不況から脱却しようとしております。

当社グループ事業における経営環境につきましては、お客さまのニーズの多様化が進み今まで以上にきめの細かなサービスを求める傾向が顕著になってきております。当社グループは、「幸せな出会いを創造し続ける企業」として、お客さまのニーズに確実に応えていくとともに、更なる事業拡大を目指して、下記の重点取り組みを実施してまいりました。

①「既存事業の再構築」

当連結会計年度につきましては、2012年5月に都市圏の営業力の強化を図るために、JR川崎駅前の商業施設に「ツヴァイ川崎ルフロン」を開設いたしました。また、2012年12月には、「ツヴァイ郡山」をJR郡山駅に隣接する駅ビル郡山エスパルに移転させ活性化に取り組みました。いずれの店舗も当社の新たな出店戦略に基づいた商業施設への出店であり、認知度の向上と当社のサービスに触れていただく機会の拡大に取り組みました。

媒体戦略につきましては、メトロビジョン、シネマ広告、屋外ビジョン、CSテレビCMなどによる映像媒体を積極的に展開し認知度の向上とブランディングに取り組みました。

また、お客さまニーズに対応するために、シニアイベントへの参加やシニア層向けのサービスを強化いたしました。この結果、50歳以上の新規入会者は、前期比5.8%増となりました。27歳以下のヤング層に対しては、入会しやすい料金体系の新コースを販売しました。その結果27歳以下の新規入会者は、前期比22.5%増となりました。また、第4四半期より期間限定で「ツヴァイの半額キャンペーン」を実施し、新規入会者の獲得に取り組みました。

2012年12月に本社機能を東京都中央区銀座に移転し、コールセンター機能の整備とセキュリティ体制の再構築に取り組みました。

②「新しい事業・サービスの開発」

パーティ・イベント事業の「クラブチャテオ」につきましては、2012年6月に大阪心斎橋にパーティ専用ラウンジを開設し、関西地区のパーティの充実に取り組みました。また、インターネット関連企業が運営するお見合いサイトの会員さま向けのパーティを受託運営するとともに新しいサービスを共同で開発いたしました。その結果、当連結会計年度のパーティ開催数は、前期比206.7%増となりました。

ウェディング事業につきましては、ブランド名を「イオンウェディング」に変更し、一般顧客向けのサービスとして事業強化に取り組みました。当連結会計年度におきましては、イオンレイクタウンとmozoワンダーシティに既存のツヴァイ店舗と併設型の「ウェディングデスク」を開設いたしました。

③「アジアでの事業展開」

タイ事業につきましては、2012年6月にバンコク中心部に位置するショッピングセンター「セントラルワールド」に1号店を開設し営業を開始いたしました。バンコク高架鉄道の主要駅での看板やショッ

ピングセンターなどでのリーフレット配布などにより認知度の向上を図りながら基礎会員の獲得に取り組みました。また、現地のニーズに合わせた商品開発やパーティ・お引き合わせサービスの充実にも取り組んでまいりました。

売上高の状況につきましては、新規入会者数は若干前年を下回ったものの月会費である情報提供料の単価の高いコースの構成比が高まったことにより、情報提供料売上は前期比8.3%増となりました。また、パーティ売上につきましては、ツヴァイ会員のパーティ、クラブチャティオのパーティともに拡大をしたことにより、前期比44.1%増となりました。

コストにつきましては、映像媒体などに積極的にチャレンジしたことや販売促進キャンペーン等により、売上原価率が前期より0.4%高くなりました。販売費及び一般管理費につきましては、クラブチャティオ事業の新規ラウンジの開設、ウエディング事業等の人材確保及びシステム投資等の将来に向けた投資を積極的に実施したことにより前期比11.1%増となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高42億98百万円、営業利益3億34百万円、経常利益3億65百万円、当期純利益1億93百万円となりました。

(次期の見通し)

次期につきましては、「お客さまの幸せを創造し続ける企業」としての当社グループの役割や責任を十分に認識し、下記の取り組みを重点的に実施してまいります。

- ① ツヴァイ事業・・・販売コースのシンプル化を図りながら、エブリディロープライス戦略を推進させるとともに、営業拠点のマリッジ・コンサルタントによる入会から成婚までのサポート体制の強化に取り組めます。
- ② クラブチャティオ事業・・・パーティ専用ラウンジを新設するとともに、人材育成を図りながらローコストオペレーションに取り組めます。
- ③ ウエディング事業・・・ウエディングデスク事業の拡大に取り組めます。
- ④ 海外事業・・・タイ事業では、当社による支援プロジェクトチームを立ち上げるとともに海外駐在員向けのサービスを開始するなどによりトップラインを上げる施策に取り組めます。

以上の取り組みにより、当社グループの次期の見通しにつきましては、売上高は44億円（前期比2.4%増）、営業利益は3億80百万円（前期比13.7%増）、経常利益は4億10百万円（前期比12.3%増）、当期純利益1億95百万円（前期比0.7%増）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は、49億75百万円となりました。

流動資産は、30億38百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金 3 億50百万円、関係会社預け金19億円、売掛金 4 億49百万円等であります。

固定資産は、19億37百万円となりました。その内訳は、有形固定資産 2 億37百万円、無形固定資産 1 億12百万円、投資その他の資産15億87百万円であります。

当連結会計年度末の負債合計は、9 億90百万円となりました。

流動負債は、6 億26百万円となりました。その主な内訳は、前受金 1 億77百万円、未払法人税等 1 億10百万円、未払費用99百万円等であります。

固定負債は、3 億63百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債 2 億31百万円、資産除去債務60百万円等であります。

当連結会計年度末の純資産合計は、39億85百万円となりました。その主な内訳は、株主資本33億88百万円、その他の包括利益累計額 5 億60百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、22億50百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1 億78百万円となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益 3 億51百万円、減価償却費 1 億40百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額96百万円、金銭の信託の増加額35百万円、法人税等の支払額 1 億57百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2 億54百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得 1 億24百万円、無形固定資産の取得71百万円、敷金の差入84百万円等の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、1 億17百万円となりました。主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2009年2月期	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期	2013年2月期
自己資本比率	79.3	82.1	84.3	82.2	79.3
時価ベースの自己資本比率	56.2	66.7	71.9	66.9	62.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、有利子負債はありませんので記載しておりません。
4. 2013年2月期より連結財務諸表を作成しておりますので、2009年2月期から2012年2月期につきましては、当社単体の数値を記載しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆さまへの安定的利益還元を経営の最重要目標のひとつとして位置付けており、内部留保の充実と財務体質の強化を勘案しつつ、株主の皆さまへの利益還元をしていきたいと考えております。内部留保資金については、新規営業所の出店、既存営業所の活性化改装およびシステム投資のための設備投資資金等として活用し、事業基盤の強化拡大に努め、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

当連結会計年度の剰余金の配当につきましては、1株につき普通配当30円とさせていただくことを2013年4月9日開催の取締役会にて決議いたしました。1株当たり当期純利益は、49円64銭でありますので、配当性向は60.4%となります。なお、期末配当金の支払開始日（効力発生日）は2013年4月30日（火曜日）からとさせていただきます。

次期の配当につきましては、1株につき普通配当30円を予想しております。

(4) 事業等のリスク

最近の有価証券報告書（2012年5月14日提出）における「事業等のリスク」から重要な変更がないため開示を省略しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（株式会社ツヴァイ）と連結子会社1社（ZWEI (THAILAND) CO., LTD.）より構成されており、結婚相手紹介サービス業を主な事業としております。

また、当社の親会社はイオン株式会社（純粋持株会社）であります。当社グループは、イオン株式会社における事業セグメントの中で、サービス事業に属しております。

3. 経営方針

（1）会社の経営の基本方針

当社グループは、「人間尊重の立場に立って新しい価値観を生み、人間的なつながりを大切にし、幸せな出会いを創造し続け、未来のより豊かな社会づくりに貢献します。」という経営理念のもとに、「お客さまの幸せを創造し続ける企業」として「一人でも多くの幸せなカップルをつくる」ことを目指します。

（2）目標とする経営指標

当社グループは継続的な成長を目指し、その経営数値指標といたしまして、売上高営業利益率の10%以上の継続実現を目標としております。また、効率分析の指標としてROA（総資産経常利益率）ならびにROE（自己資本利益率）を重視しております。ROA10%、ROE7%を目標としております。

（3）中長期的な会社の経営戦略

① ツヴァイ事業

- 1) ショッピングセンター出店を中心に毎年5店舗の活性化を行います。
- 2) 営業コントロールシステムを構築し、拠点別の営業数値のコントロール機能を高めてまいります。
- 3) 当社基幹のマッチングシステムの刷新に取り組み、システムの拡張性を高めお客さまの変化に対応したサービスの提供ができるシステムの構築に取り組みます。

② クラブチャテオ事業

- 1) 人材育成を図りながら、ローコストオペレーションによる利益確保体制を構築します。
- 2) 年間2店舗のパーティ専用ラウンジを開設させ、事業の拡大に取り組みます。

③ ウェディング事業

- 1) ウェディングデスク事業を拡大させるとともにウェディングスクール事業への参入に取り組みます。
- 2) ウェディング事業から始まるライフサポート事業のサービス拡大に取り組みます。

④ 海外事業

- 1) タイ事業における早期単年度黒字化に取り組みます。
- 2) アセアン・東アジアを中心に新規出店に向けた準備を進めてまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

① 成婚退会率の向上

当社グループは「お客様の幸せを創造し続ける企業」として、「ひとりでも多くの幸せなカップルをつくること」のために、お客様が成婚するまで活動をしていただくことで成婚退会率の向上に取り組んでおります。お客様が活動なかばで断念することのないように、成婚まで一貫したサポート体制を構築し、お客様それぞれに合わせた会員活動のサポートを実現してまいります。

② 販売コースの刷新

シニア層の増加や所得の減少など外部環境の変化に合わせて、販売コースの抜本的な見直しを実施してまいります。販売コースをシンプルに集約し、エブリディロープライス価格戦略の実現を目指してまいります。

③ 基幹システムの刷新

会員マイページサービスによる写真閲覧システムを導入するとともにサービスの根幹であるマッチングシステムの刷新に取り組み、システムの拡張性を高めてお客様の変化に対応したサービスを開発してまいります。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2013年2月28日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	350,030
売掛金	449,458
前払費用	68,201
繰延税金資産	16,171
関係会社預け金	1,900,000
金銭の信託	240,128
その他	17,286
貸倒引当金	△2,772
流動資産合計	3,038,504
固定資産	
有形固定資産	
建物	313,143
減価償却累計額	△206,769
建物(純額)	106,374
工具、器具及び備品	433,500
減価償却累計額	△302,367
工具、器具及び備品(純額)	131,132
有形固定資産合計	237,506
無形固定資産	
ソフトウェア	108,457
その他	3,650
無形固定資産合計	112,107
投資その他の資産	
投資有価証券	925,345
敷金	356,297
保険積立金	304,883
長期前払費用	1,317
投資その他の資産合計	1,587,843
固定資産合計	1,937,458
資産合計	4,975,962

(単位：千円)

当連結会計年度 (2013年2月28日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	75,690
未払金	94,004
未払費用	99,423
未払法人税等	110,777
未払消費税等	18,821
前受金	177,591
賞与引当金	13,106
役員業績報酬引当金	28,670
設備関係未払金	2,094
その他	6,528
流動負債合計	626,708
固定負債	
繰延税金負債	231,542
退職給付引当金	55,387
資産除去債務	60,692
長期未払金	16,260
固定負債合計	363,883
負債合計	990,591
純資産の部	
株主資本	
資本金	444,000
資本剰余金	450,000
利益剰余金	2,494,413
自己株式	△344
株主資本合計	3,388,068
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	546,646
為替換算調整勘定	13,676
その他の包括利益累計額合計	560,322
新株予約権	21,932
少数株主持分	15,046
純資産合計	3,985,370
負債純資産合計	4,975,962

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
売上高	4,298,020
売上原価	1,987,331
売上総利益	2,310,689
販売費及び一般管理費	1,976,501
営業利益	334,187
営業外収益	
受取利息	7,005
受取配当金	20,588
雑収入	3,908
営業外収益合計	31,502
営業外費用	
雑損失	511
営業外費用合計	511
経常利益	365,179
特別損失	
本社移転費用	13,634
特別損失合計	13,634
税金等調整前当期純利益	351,544
法人税、住民税及び事業税	194,070
法人税等調整額	6,513
法人税等合計	200,584
少数株主損益調整前当期純利益	150,960
少数株主損失(△)	△42,642
当期純利益	193,602

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	150,960
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	258,769
為替換算調整勘定	23,339
その他の包括利益合計	282,109
包括利益	433,070
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	463,808
少数株主に係る包括利益	△30,738

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
株主資本	
資本金	
当期首残高	444,000
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	444,000
資本剰余金	
当期首残高	450,000
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	450,000
利益剰余金	
当期首残高	2,417,804
当期変動額	
剰余金の配当	△116,992
当期純利益	193,602
当期変動額合計	76,609
当期末残高	2,494,413
自己株式	
当期首残高	△312
当期変動額	
自己株式の取得	△32
当期変動額合計	△32
当期末残高	△344
株主資本合計	
当期首残高	3,311,492
当期変動額	
剰余金の配当	△116,992
当期純利益	193,602
自己株式の取得	△32
当期変動額合計	76,576
当期末残高	3,388,068

(単位：千円)

		当連結会計年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高		287,876
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		258,769
当期変動額合計		258,769
当期末残高		546,646
為替換算調整勘定		
当期首残高		4,570
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		9,105
当期変動額合計		9,105
当期末残高		13,676
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高		292,447
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		267,875
当期変動額合計		267,875
当期末残高		560,322
新株予約権		
当期首残高		15,228
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		6,704
当期変動額合計		6,704
当期末残高		21,932
少数株主持分		
当期首残高		43,454
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△28,407
当期変動額合計		△28,407
当期末残高		15,046
純資産合計		
当期首残高		3,662,621
当期変動額		
剰余金の配当		△116,992
当期純利益		193,602
自己株式の取得		△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		246,172
当期変動額合計		322,749
当期末残高		3,985,370

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当連結会計年度
(自 2012年2月21日
至 2013年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	351,544
減価償却費	140,526
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,360
賞与引当金の増減額 (△は減少)	115
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	7,980
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,163
長期未払金の増減額 (△は減少)	△32,070
受取利息及び受取配当金	△27,801
固定資産除却損	6,374
売上債権の増減額 (△は増加)	△96,102
前払費用の増減額 (△は増加)	△27,589
金銭の信託の増減額 (△は増加)	△35,233
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,746
営業債務の増減額 (△は減少)	12,322
未払金の増減額 (△は減少)	20,276
未払費用の増減額 (△は減少)	△9,960
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,704
前受金の増減額 (△は減少)	△21,711
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	6,402
その他	△5,292
小計	307,753
利息及び配当金の受取額	27,473
法人税等の支払額	△157,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△124,786
無形固定資産の取得による支出	△71,081
敷金の差入による支出	△84,097
敷金の回収による収入	2,575
保険積立金の積立による支出	△76,356
保険積立金の解約による収入	98,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△32
配当金の支払額	△116,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△175,872
現金及び現金同等物の期首残高	2,425,903
現金及び現金同等物の期末残高	2,250,030

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 ZWEI (THAILAND) CO., LTD.

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計処理基準に関する事項

①有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

②重要な固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産（リース資産を除く）

経済的耐用年数に基づく定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物（建物附属設備） 3年～ 10年

器具及び備品 3年～ 5年

2) 無形固定資産

ソフトウェア 社内における利用可能期間（3年～5年）に基づく定額法

③重要な引当金の計上基準

1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

2) 賞与引当金

従業員に支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき金額を計上しております。

3) 役員業績報酬引当金

役員に支給する業績報酬に備えるため、当連結会計年度末における支給見込額を計上しております。

4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、計上しております。過去勤務債務は、発生年度において一括損益処理しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により翌事業年度から費用処理することとしております。

(7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の定性に関する会計基準の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
1株当たり純資産	1,012円48銭
1株当たり当期純利益	49円65銭
潜在株式調整度1株当たり当期純利益	49円12銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
1株当たり当期純利益金額	
当期純利益(千円)	193,602
普通株式に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	193,602
普通株式の期中平均株式数(株)	3,899,759
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	
当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加額(株)	41,401
(うち新株予約権(株))	(41,401)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2013年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	3,985,370
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	36,979
(うち新株予約権(千円))	(21,932)
(うち少数株主持分(千円))	(15,046)
普通株式に係る期末の純資産額	3,948,391
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,899,723

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表
(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年2月20日)	当事業年度 (2013年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	389,078	260,024
売掛金	353,355	449,457
前払費用	38,745	65,351
短期貸付金	—	100,000
繰延税金資産	14,017	16,171
預け金	135,007	—
関係会社預け金	1,800,000	1,900,000
金銭の信託	204,894	240,128
その他	17,690	6,963
貸倒引当金	△1,412	△2,772
流動資産合計	2,951,377	3,035,324
固定資産		
有形固定資産		
建物	283,838	302,999
減価償却累計額	△223,944	△206,005
建物(純額)	59,894	96,993
工具、器具及び備品	380,336	432,139
減価償却累計額	△267,865	△302,134
工具、器具及び備品(純額)	112,471	130,004
有形固定資産合計	172,365	226,998
無形固定資産		
ソフトウェア	91,620	84,161
その他	3,650	3,650
無形固定資産合計	95,270	87,811
投資その他の資産		
投資有価証券	524,772	925,345
関係会社株式	87,122	87,122
敷金	273,132	352,498
保険積立金	327,460	304,883
長期前払費用	396	1,317
投資その他の資産合計	1,212,884	1,671,167
固定資産合計	1,480,520	1,985,977
資産合計	4,431,898	5,021,302

(株)ツヴァイ(2417)2013年2月期決算短信[日本基準](連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年2月20日)	当事業年度 (2013年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,367	75,690
未払金	51,677	83,223
未払費用	108,914	99,384
未払法人税等	72,519	110,777
未払消費税等	15,117	18,821
前受金	199,015	175,527
賞与引当金	12,991	13,106
役員業績報酬引当金	20,690	28,670
設備関係未払金	589	2,094
その他	1,352	6,109
流動負債合計	546,234	613,405
固定負債		
繰延税金負債	81,071	231,542
退職給付引当金	45,148	55,312
資産除去債務	51,143	60,692
長期未払金	48,330	16,260
固定負債合計	225,694	363,808
負債合計	771,929	977,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	444,000	444,000
資本剰余金		
資本準備金	450,000	450,000
資本剰余金合計	450,000	450,000
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,070,000	2,270,000
繰越利益剰余金	333,176	251,854
利益剰余金合計	2,463,176	2,581,854
自己株式	△312	△344
株主資本合計	3,356,864	3,475,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	287,876	546,646
評価・換算差額等合計	287,876	546,646
新株予約権	15,228	21,932
純資産合計	3,659,969	4,044,088
負債純資産合計	4,431,898	5,021,302

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2011年2月21日 至 2012年2月20日)	当事業年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
売上高	4,028,860	4,296,981
売上原価	1,814,403	1,951,764
売上総利益	2,214,457	2,345,217
販売費及び一般管理費	1,733,785	1,926,178
営業利益	480,672	419,038
営業外収益		
受取利息	7,861	6,869
受取配当金	20,514	20,588
雑収入	937	3,904
営業外収益合計	29,313	31,362
営業外費用		
雑損失	35	511
営業外費用合計	35	511
経常利益	509,950	449,889
特別損失		
本社移転費用	—	13,634
災害による損失	10,592	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,949	—
その他	8,827	—
特別損失合計	57,368	13,634
税引前当期純利益	452,581	436,255
法人税、住民税及び事業税	176,014	194,070
法人税等調整額	32,515	6,513
法人税等合計	208,530	200,584
当期純利益	244,051	235,670

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2011年2月21日 至 2012年2月20日)	当事業年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	444,000	444,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	444,000	444,000
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	450,000	450,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	450,000	450,000
資本剰余金合計		
当期首残高	450,000	450,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	450,000	450,000
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	60,000	60,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	1,870,000	2,070,000
当期変動額		
別途積立金の積立	200,000	200,000
当期変動額合計	200,000	200,000
当期末残高	2,070,000	2,270,000
繰越利益剰余金		
当期首残高	406,118	333,176
当期変動額		
剰余金の配当	△116,994	△116,992
別途積立金の積立	△200,000	△200,000
当期純利益	244,051	235,670
当期変動額合計	△72,942	△81,322
当期末残高	333,176	251,854
利益剰余金合計		
当期首残高	2,336,118	2,463,176
当期変動額		
剰余金の配当	△116,994	△116,992
別途積立金の積立	—	—
当期純利益	244,051	235,670
当期変動額合計	127,057	118,677
当期末残高	2,463,176	2,581,854

(株)ツヴァイ(2417)2013年2月期決算短信[日本基準](連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2011年2月21日 至 2012年2月20日)	当事業年度 (自 2012年2月21日 至 2013年2月28日)
自己株式		
当期首残高	△278	△312
当期変動額		
自己株式の取得	△33	△32
当期変動額合計	△33	△32
当期末残高	△312	△344
株主資本合計		
当期首残高	3,229,840	3,356,864
当期変動額		
剰余金の配当	△116,994	△116,992
当期純利益	244,051	235,670
自己株式の取得	△33	△32
当期変動額合計	127,024	118,645
当期末残高	3,356,864	3,475,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	302,546	287,876
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,669	258,769
当期変動額合計	△14,669	258,769
当期末残高	287,876	546,646
評価・換算差額等合計		
当期首残高	302,546	287,876
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,669	258,769
当期変動額合計	△14,669	258,769
当期末残高	287,876	546,646
新株予約権		
当期首残高	13,065	15,228
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,162	6,704
当期変動額合計	2,162	6,704
当期末残高	15,228	21,932
純資産合計		
当期首残高	3,545,452	3,659,969
当期変動額		
剰余金の配当	△116,994	△116,992
当期純利益	244,051	235,670
自己株式の取得	△33	△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,506	265,474
当期変動額合計	114,517	384,119
当期末残高	3,659,969	4,044,088

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

6. その他

(1) 役員の変動

当社は、2013年5月22日開催の第29期定時株主総会および同株主総会後の取締役会により、次のとおり役員の変動を行う予定であります。

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他役員の変動

1. 新任監査役候補

監査役 柴崎 正恭 (現 (株)ワーナー・マイカル常務取締役)

監査役 福田 真 (現 イオン(株)財務部マネージャー)

(注) 柴崎正恭氏と福田真氏は、会社法に定める社外監査役候補であります。

2. 退任予定監査役

監査役 仲原 茂

監査役 岩瀬 真悟

(2) その他

該当事項はありません。